

桜を主とした 神之池緑地樹木再配置計画

《概要版》



令和 6 年 1 0 月
神栖市

I はじめに

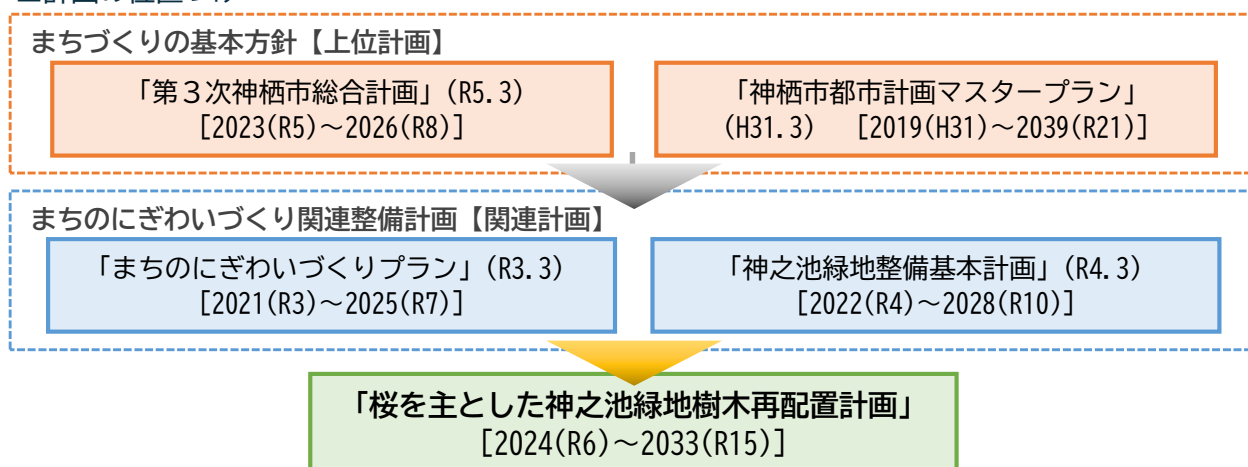
1. 本計画の背景・目的

神之池緑地は、平成 19 年度から 21 年度にかけ、「公園再生事業」として、武道館東側にグラウンドゴルフ等多目的に利用できる芝生広場や、広々とした遊具広場等を整備し、日々多くの市民が利用しています。また、毎年春には桜まつりが開催されるなど、自然豊かな公園として親しまれています。一方で、海からの強風の影響を強く受け、固い土壌や排水の不備など、樹木等の育成環境は必ずしも良好な状況にあると言えない中で、開設から約 50 年が経過し、樹木の老朽化も顕著となってきています。このような状況を踏まえ、さらなる神之池緑地の魅力の向上、にぎわいの形成に向けて、中長期を見据えた中で、桜等樹木の維持・更新の方向性及び市民参画による維持管理の方針について定める「桜を主とした神之池緑地樹木再配置計画」（以下「本計画」と記す）を策定するものです。

2. 本計画の位置付け

本市の都市経営の方針を示した「第 3 次神栖市総合計画」や都市計画の基本的な方針となる「神栖市都市計画マスタープラン」のほか、神之池緑地を対象地にした関連計画である「まちのにぎわいづくりプラン」、「神之池緑地整備基本計画」を踏まえて計画を策定します。

■計画の位置づけ



II 神之池緑地の桜等樹木の現況

1. 桜等樹木の立地状況、育成状況

神之池緑地全域には約 9.9 千本の樹木があり、うち桜は約 1.9 千本（約 2 割）、その他樹木が約 8.0 千本（約 8 割）となっています。桜の健全度に関しては、約 1.9 千本のうち「健全」は 13.6%（262 本）に過ぎず、「危険」が 45.3%（872 本）、「注意、枯れ枝等」が 41.1%（793 本）を占めています。

■桜等樹木の分布



資料：神之池周辺の魅力づくり（樹木調査業務）結果データ

2. 桜等樹木の育成上の主な課題

【桜に係る主な課題】

- 老朽化、枝枯れや病理等、管理が十分に行き届いていない状況が見られます。適切な剪定、病害虫対策など、維持管理（予防保全）の取組を強化していく必要があります。
- 強風や土壌の不良（土質や排水の不備）など、桜の育成上の課題要因への対策が十分に進んでいません。立地状況に応じた必要な対策を一体的に取組ながら、桜の更新を進めていくことが望まれます。

【その他樹木を含めた主な課題】

- 開設から約 50 年が経過し、樹木は大きく成長し密接が進み、日照や見通し等に影響が生じている箇所が見られます。健全な育成環境を保つ観点から、植栽間隔を確保するための更新、適切な伐採や剪定等を計画的に進めていく必要があります。
- 神之池の緑地は、主に緩衝緑地としての機能を期待されてきた経緯から、全体として「彩」の乏しい、やや単調な印象の緑地となっています。周辺の産業環境の変化や市民ニーズの変化を踏まえ、より「彩」のある、四季を通じて人々を惹きつける緑地として更新を進めていくことが望まれます。

【にぎわい形成に係る主な課題】

- 一部エリアでは芝生広場や大型遊具、カフェ等が整備され、憩いとにぎわいの拠点空間の充実が進みつつありますが、神之池緑地全体としては、憩い・にぎわう空間の整備は、まだまだ十分ではなく、緑地全体に広がる豊富な樹木や水辺を活かした、心地よい緑地空間の拡充を図っていく必要があります。

【緑地利用に係る主な課題】

- 根元の保全や地被類の保全、芝生広場の養生など、桜等樹木の健全な育成を図っていく上で、利用者に求められる配慮についての意識を高めながら、樹木・緑地に優しい行動を促していく必要があります。

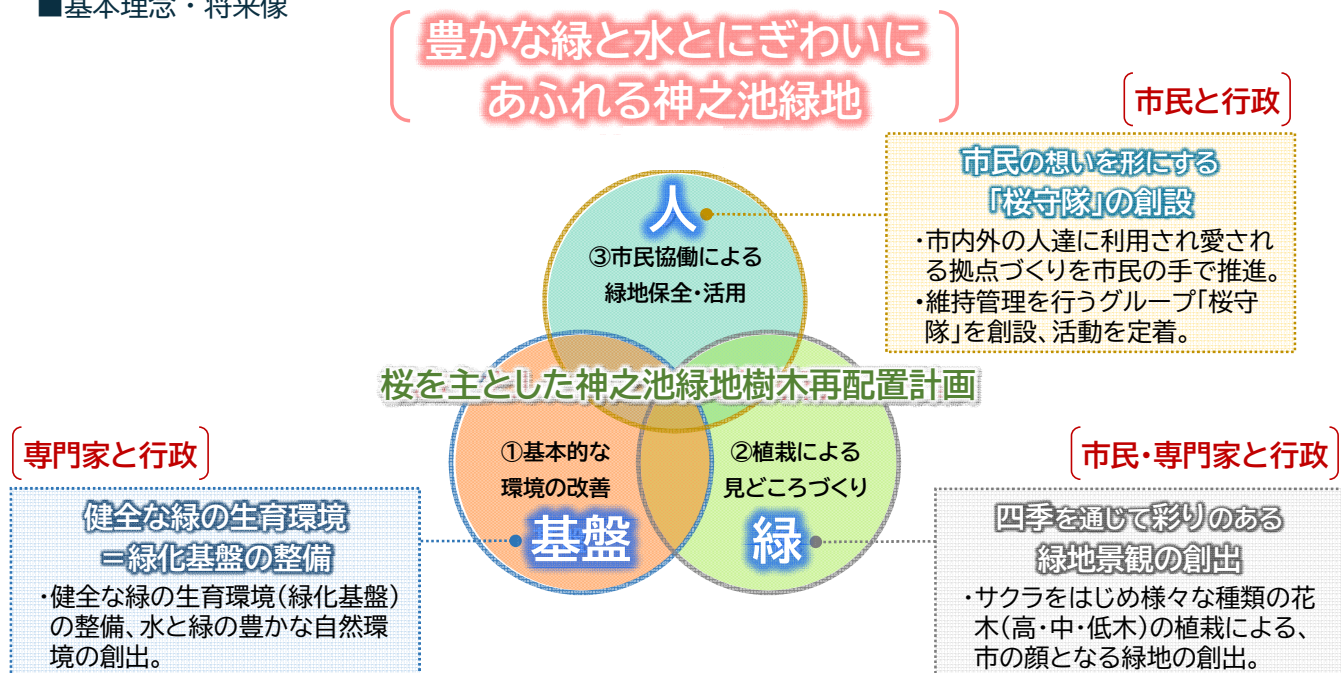
Ⅲ 桜等樹木再配置計画

1. 桜等樹木再配置計画の将来像と基本目標

（1）基本理念・将来像

本計画の推進においては、「基盤」、「緑」、「人」の3つの観点を基に、各観点の活性化と質の向上、ならびに3つの観点の相互作用を高めていくことを基本理念とし、『豊かな緑と水、にぎわいにあふれる神之池緑地』を将来像として設定します。

■基本理念・将来像



(2) 基本目標

基本理念・将来像を踏まえ、①桜の名所づくり、②四季折々の魅力づくり、③市民が参加できる緑地づくりを基本目標として設定します。

■基本目標

①桜の名所づくり

・桜の魅力を高め、さらに楽しめる場所とする。

②四季折々の魅力づくり

・春・夏・秋・冬を通じて魅力のある場所とする。

③市民が参加できる緑地づくり

・市民協働による桜等樹木の維持管理や緑地整備を推進する。

2. ゾーン別の桜等樹木再配置の方針

(1) ゾーン別の基本方針

神之池緑地の立地特性を踏まえた9つのゾーン区分を想定し、それぞれについて基本方針（目指す方向性）を設定します。

■ゾーン別の基本方針



(2) ゾーン別の整備方針

A: 桜の優先改修ゾーン【分庁舎裏、桜祭り会場周辺】

基本方針

●桜の名所づくりの推進

樹木配置・施設整備

- 桜の不良木の更新(多品種の植栽-カワヅザクラ、オオシマザクラ等)
- 桜の根本への植栽修景(土壌保全の観点から)
- 防風樹木の配置の検討(見せる防風植樹)
- 桜の成長を考慮した樹間の確保(概ね8m以上)
- 花壇の再整備(ひょうたん池周辺)
- ◆ベンチ等休憩施設の配置
- ◆桜の見所スペースの確保・整備

候補樹木イメージ



カワヅザクラ



サトザクラ



オオシマザクラ



アメリカ
ヒトツバタゴ



アメリカ
リョウブ

基盤整備

- ◎既存樹木に対する土壌改良(エアースコップ等)
- ◎スポット的盛土による土壌改良
- ◎桜周りの堤形状の配置(シンボル樹木としての育成、根元保全、防風対策等)

整備時期

- ▼短期1～3年(不良木の植替え、既存樹木の土壌改良、スポット盛土等)
- ▼中期4～6年(シンボル桜周りの堤整備)

その他

- グラウンドゴルフ利用での植栽への配慮(桜の育成を第一に考えるべきゾーンとしての周知)

現況 (Aゾーン)



将来像 (Aゾーン)



シンボリックな桜の育成・配置
水辺沿いへのシンボリックな桜の配置。

多種類の桜の展開
桜の種類を増やし、桜を楽しめる期間を長くする。
(カワヅザクラ、オオシマザクラ等)

「堤」内の土壌改良
桜の育成環境をスポット的に改善。

桜を囲む緑の「堤」の配置
一定の人の出入りは可としながらも、桜周りの地盤面の保全を図るしつらえ。芝等の緑の堤を背にして、風当りを防ぎ、くつろげる場を提供。

B: 公共施設周辺緑化ゾーン【中央公民館・文化センター、陸上競技場、BBQ 場等】

基本方針

- 公共施設の緑化による緑地環境の向上

樹木配置・施設整備

- 公共施設敷地内の緑化修景（特に池側敷地内）
- 良好な既存樹木の保全（バーベキュー広場の藤棚等）
- 防風樹木の配置の検討（見せる防風植樹）
- 公共施設整備に合わせた景観樹木の植栽
- ◆ 公共施設再整備での眺望に留意した整備の検討（体育館再整備等）

基盤整備

- ◎ スポットの盛土、植穴改良による土壌改良

整備時期

- ▼ 中期4～6年
（関連施設の整備に合わせた緑化修景、植栽）

その他

- 各公共施設間の緑化修景の取組の連携（ゾーンでの一体感の考慮等）

候補樹木イメージ



キンモクセイ



ギンモクセイ

C: 芝生広場と緑陰形成ゾーン【カフェ、大型遊具広場周辺】

基本方針

- にぎわいづくりの中心地として魅力の向上

樹木配置・施設整備

- 既存樹木の適切な配置・樹間の確保（計画的な間伐と剪定、池への視線を抜けさせ水辺の眺望確保）
- 桜の不良木の撤去・更新、良好な樹形の保全（特に池側）
- 大型遊具・カフェ周辺の芝生広場の拡充・整備、良好な芝生環境の維持（子どもの安全な遊び環境、緑に触れる快適環境の向上）
- 周辺と調和する防風樹木の配置の検討（魅せる防風林）
- ◆ ベンチやあずまや等休憩施設の配置（気持ちのよい木陰や遊具で遊ぶ子どもを見守れる箇所への配置）

基盤整備

—

整備時期

- ▼ 短期1～3年（現状の良好な芝生の管理継続、計画的な伐採・剪定、パイロットエリア*活用の検討）
- ▼ 中期4～6年（桜その他樹木の更新）

その他

- パイロットエリア*事業化のための検討
- カフェ等民間事業者との連携方策の検討（関連イベント開催等）

*パイロットエリアとは、市民等の発意により実験的・一時的に活用を促すエリアいう。

候補樹木イメージ



オオシマザクラ



サトザクラ



芝生広場

D:水際の緑地形成ゾーン【グラウンドゴルフ場周辺】

基本方針

●水辺を活かした緑地整備

樹木配置・施設整備

- 桜の不良木の撤去、部分更新⇒低木・草花の植樹
- 水辺を生かした植栽の検討
(地被類、水生植物等) ※実験的取組
- ◆ベンチ等休憩施設の配置(水辺沿い、園路沿い等)

基盤整備

- ◎土壤改良(水際地での検討)
※植栽転換に合わせた土壤改良の検討
- ◎スポット的盛土による土壤改良(桜)

整備時期

- ▼短期1～3年(水際への草花・地被類等の植栽等)
- ▼中期4～6年(土壤改良等)

その他

- グラウンドゴルフ場の利用者による修景活動との連携(ゾーン一体での緑化修景の充実)
- 水辺を活かした植栽活動への市民参加の検討

候補樹木イメージ



ヤナギ

E:桜並木育成・再生ゾーン【池東端周辺】

基本方針

●桜並木の育成・再生(桜の回廊づくり)

樹木配置・施設整備

- 良好木の保全、不良木の更新(桜並木の再生)
- 空地を活かした多種類の桜の植栽(多種類の桜による並木の拡充)
- 四季を感じる樹木の植栽
- 既存の大木(アキニレ等)の保全、シンボルツリーとしての修景
- 鉄塔跡地への桜をはじめ四季を感じる樹木の植栽
(※短期においては経過観察とオープンスペースとして暫定活用の検討等)
- ◆ベンチ等休憩施設の配置(桜の回廊づくりを意識した施設配置)
- ◆盛土と合わせた緑地内園路(フットパス)の整備

基盤整備

- ◎スポット的盛土による土壤改良
(桜並木の拡充、桜種類の拡充)
- ◎鉄塔跡地への面的な土壤改良の検討
※経過観察を踏まえた実施

整備時期

- ▼短期1～3年(鉄塔跡地の経過観察と暫定活用の検討等)
- ▼中期4～6年(スポット土壤改良、暗渠排水、桜植樹、休憩施設整備、鉄塔跡地での検討を踏まえた整備)

その他

- 園路沿いの桜並木の形成(回廊づくり)における園路空間の確保に対する配慮(様々なイベントでの園路の活用を考慮した植樹のセットバックの検討等)

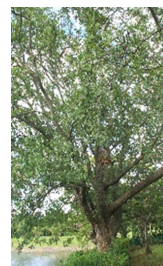
候補樹木イメージ



シダレザクラ



オオシマザクラ



アキニレ (現存樹)

現況 (Eゾーン)



多種類の桜の展開

多種類の桜の配置、桜を楽しめる期間を長くする。(シダレザクラ、フユザクラ等)

将来像 (Eゾーン)



季節を演出する花木の植栽

春の桜のほか、夏～秋を演出する花木を植栽する。(ハナモクレン、コブシ等)

スポット盛土による地盤改良、桜並木の形成

桜一本ずつの地盤改良(スポット盛土)による育成環境の改善。それらの連続性のある配置により桜並木を形成。

F:良好環境維持ゾーン【パターゴルフ場周辺】

基本方針

- パターゴルフ場としての緑地環境の保全

樹木配置・施設整備

- ゴルフ場管理の中での保全の継続
- 鉄塔跡地-ゴルフ場エントランス部における植栽修景の検討
- 鉄塔跡地への桜をはじめ四季を感じる樹木の植栽(※短期においては経過観察とオープンスペースとして暫定活用の検討等)
- ◆ 鉄塔跡地-ゴルフ場エントランス部における休憩施設等整備の検討

基盤整備

—

整備時期

- ▼ 短期1～3年
(予防保全管理の継続、鉄塔跡地整備の検討等)

その他

- パターゴルフ場利用者との連携による緑地環境整備の促進
(神之池緑地の緑化活動への参加の呼びかけ)
- ゴルフ場の利用状況を踏まえた将来的な用途転換等の検討

候補樹木イメージ



ユズリハ



ヤマモモ



シマトネリコ



カツラ



エノキ



パンパスグラス

G:桜の植替え・健全化ゾーン【ふれあい橋先、花壇・四阿周辺】

基本方針

●四季を彩る多様な植栽環境の整備

樹木配置・施設整備

- 緩衝緑地帯の間伐・剪定による見通しや明るさの確保(鉄塔移設を契機とした不良木の除去等)
- 桜の古木の撤去更新⇒多品種の桜の植栽(土壤改良と合わせた)
- 四季を感じる樹木の植栽(土壤改良と合わせた)
- 既存花壇の改善・充実(テーマ性のある整備、四季の演出等)
- 鉄塔跡地への桜をはじめ四季を感じる樹木の植栽
※4ヶ所(※短期においては経過観察とオープンスペースとして暫定活用を検討等)
- ◆ベンチ等休憩施設の配置、既存のあずまや等の改善
- ◆緑地内園路(フットパス)の修景整備、ネットワーク形成(盛土による樹木更新、花壇改善と合わせた休憩施設や園路フットパスの整備)

基盤整備

- ◎まとまりある空地を活かした面的な土壤改良
- ◎スポット的盛土による土壤改良
- ◎鉄塔跡地への面的な土壤改良の検討 ※経過観察を踏まえた実施

整備時期

- ▼短期1～3年(鉄塔跡地の経過観察と暫定活用を検討、花壇改善等)
- ▼中期4～6年(スポット土壤改良、面的な土壤改良、桜植樹、四季を感じる樹木植栽、休憩施設整備等)
- ▼長期7～10年(鉄塔跡地での検討を踏まえた整備)

その他

- ゾーン内の彩テーマの詳細区分の検討(桜種別、四季の樹種や草花、花壇改善等)
- 鉄塔跡地(4ヶ所それぞれ)の段階的整備の検討(周辺の緩衝緑地も含めた整備の方向性、各跡地の連携等)

候補樹木イメージ

〈春～夏〉



ハクモクレン



カリステモン ピンクシャパン
(薄桃・紅・白)

〈夏～秋〉



サルスベリ (紅・薄桃)



ムクゲ



モミジ



オリーブ

〈冬～春〉



梅林 (薄桃・紅・白)



カンヒザクラ



フユザクラ

現況 (Gゾーン)



多種類の桜の展開

土壌改良した基盤上で多種類の桜の植栽。
桜の種類を増やし、桜を楽しめる期間を長くする。
(シダレザクラ、オオシマザクラ、ヤエベニオオシマ等)

将来像 (Gゾーン)



池沿いの空き地を活かし盛土による土壌改良

池沿いの空き地を活かし、面的に盛土を行い、
植栽基盤を改善。

H:レクリエーション広場形成ゾーン【野球場、鉄塔周辺】

基本方針

- 対岸のにぎわい・交流拠点の形成

樹木配置・施設整備

- 不良木の撤去、一部更新(土壌改良と合わせた)
- 芝生広場の整備
- 緩衝緑地帯の間伐・剪定による見通しや明るさの確保(鉄塔移設を契機とした不良木の除去等)
- 鉄塔跡地への桜をはじめ四季を感じる樹木の植栽の検討(※短期においては経過観察とオープンスペースとして暫定活用を検討等)
- ◆ ベンチ等休憩施設の配置
(芝生広場の整備に合わせた)

基盤整備

- ◎ スポット盛土による土壌改良(桜等の更新)

整備時期

- ▼ 短期1～3年(鉄塔跡地の経過観察と暫定活用を検討等)
- ▼ 中期4～6年(土壌改良、芝生広場の整備等)
- ▼ 長期7～10年(鉄塔跡地での検討を踏まえた整備)

その他

- 線路北側(庭球場、野球場周辺)からの池への見通し・眺望も考慮した緩衝緑地帯の整理
- 鉄塔移設の影響等を見極めながら本計画の推進(※池中の鉄塔の移設期間(R6～8年度)は本ゾーンの整備は不可)

候補樹木イメージ



カンヒザクラ



フユザクラ



芝生広場

現況 (Hゾーン)



仮設的な緑化修景

イベント等に合わせた仮設的な緑化修景による賑わい空間の創出。

将来像 (Hゾーン)



イベント等での活用・展開

水辺の景観を活かした空間整備・活用。多様なレクリエーション活用の受け皿。(キッチンカー、子どもの遊び場等)

芝生広場の整備

まとまったオープンスペースを活かした芝生広場の整備。不良木の撤去。

I: 並木改善ゾーン【池西端周辺】

基本方針

- 多様な樹木による園路沿い景観の改善

樹木配置・施設整備

- 既存桜の保全(病理対策、間伐等)
- 老朽木の植替え、低木の植栽
(住宅地側の木立の景観形成)
- 水辺側の低木植栽の改善
(水辺の眺望確保のための高さ調整等)

基盤整備

- ◎ スポットの盛土による土壌改良

整備時期

- ▼ 短期1～3年(既存桜の保全、低木植栽の改善等)
- ▼ 中期4～6年(老朽木の植替え、低木の植栽等)

その他

- Aゾーンと連携した桜拠点形成に向けた整備(桜並木の連続性を確保等)
- イベント等での広い園路空間の活用促進

候補樹木イメージ



カワヅザクラ



サトザクラ



オオシマザクラ

全域共通

樹木配置・施設整備

- 緑地の明るさ(≡安全性)、親しみやすさを考慮した整備
- てんぐ巢病対策の推進、早期発見早期対処(冬季中の措置が必要)
- 桜の成長を意識した樹木間隔の確保(概ね8 m以上の確保等)
- ◆ジョギング・ウォーキングコースの保全、舗装面の補修等
- ◆橋の魅力づくり(花による修景、眺望点を意識した修景整備等)
- ◆周辺施設の改善整備の中での緑化修景や眺望確保に留意した整備

基盤整備

- ◎土壌改良の取組に関する実施後の経過観察、今後の改善データの蓄積等

整備時期

- ▼ゾーンをまたがり効率的に実施できる整備等については全体的な推進を図る

その他

- 緑地や水辺を活かした様々なアクティビティを誘発する緑地づくりを考慮
- 花壇や植え込み等の整備や維持管理に係る市民参加のあり方について検討(桜守隊の活動とは別の市民参加のあり方の検討)

(3) 桜等樹木再配置イメージ図

主なゾーン（A、E、G、H）の樹木配置及び整備イメージについて整理します。

[A:桜の優先改修ゾーン【分庁舎裏、桜祭り会場周辺】]

将来の樹木配置イメージ

既存桜の健全状況に応じた計画的な育成・更新と適切な樹間の確保。

常緑樹の防風機能を考慮しながら適切な成長管理。

[Aゾーン全般]
多種類の桜の植栽
(カワツザクラ、オオシマザクラ、サトザクラ等)

池側に新しい桜の種類を植替え。
(オオシマザクラ:3月中旬～4月上旬、白)

桜周りの地盤改良・保全、
防風を考慮した緑の「堤」の整備。

まとまった良好な既存桜木の保全。
シンボル桜としての育成。
(ソメイヨシノ:3月下旬～4月上旬、薄紅)

池側に新しい桜の種類を植替え。
(オオシマザクラ:3月中旬～4月上旬、白)

桜周りの地盤改良・保全、
防風を考慮した緑の「堤」の整備。

常緑樹の防風機能を考慮
しながら適切な成長管理。

近年植え替えた桜は成長を見ながら
適切な樹間の確保。

桜の成長を見ながらオープンスペース
(桜の見処)の確保。

- カワツザクラ
- ソメイヨシノ、シダレザクラ
- サトザクラ
- オオシマザクラ
- サクラ以外



公園内側の更新に新しい桜の種類を植替え。
(サトザクラ:3月中旬～4月上旬、薄桃)

沿道の老朽桜の植替え、
早春を演出するサクラ並木の形成。
(カワツザクラ:2月下旬～3月上旬、濃紅)

桜の成長を見ながらオープンスペース
(桜の見処)の確保。

どんぐり広場の開放感、魅力の向上。
(テーマ花壇、散策ルート、休憩スペース等)

[E:桜並木育成・再生ゾーン【池東端周辺】]

将来の樹木配置イメージ

鉄塔移設地への桜と常緑樹の植栽。
面的な盛土による土壌改良。
従前の緩衝緑地、防風機能等を考慮して、
一定の樹木密度を確保しつつ、明るさの感
じられるスペースとして整備。
水辺への視界の確保や周辺緑地との連続
性・一体感にも留意。

鉄塔移設地から移植する樹木植栽エリア。

鉄塔移設地内の作業ヤ
ードの整備。(四阿、ベンチ、
駐車スペース)

緩衝緑地帯としての機能保全に留意しながら適
切に成長を管理。計画的な剪定、伐採等。

スポット盛土による桜の植栽。
変化を持たせた配置。
(フユザクラ、カンヒザクラ等)

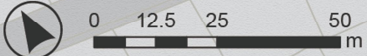
既存の健全な桜の育成と花木の植栽。
(ハクモクレン、コブシ等)

スポット盛土による新たな桜の植栽。
それらを縫うような園路の整備、ベンチの配
置による桜並木の形成。
スポット盛土周辺の芝生面の保全。
(シダレザクラ:4月上旬～4月下旬、薄紅)

- カワツザクラ
- ソメイヨシノ、シダレザクラ
- サトザクラ
- オオシマザクラ
- サクラ以外
- 盛土
- 園路

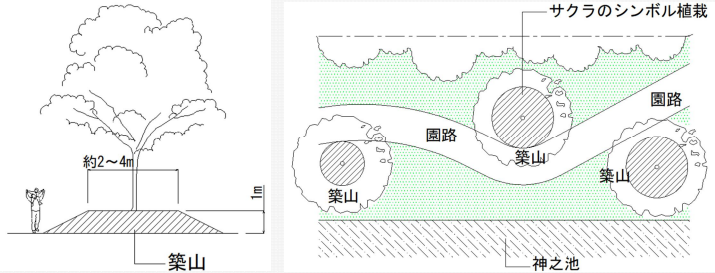
既存のアキニレの大木のシンボル
ツリーとしての保全。

スポット盛土による桜の植栽。変化を持たせた配置。
(シダレザクラ:4月上旬～4月下旬、薄紅)



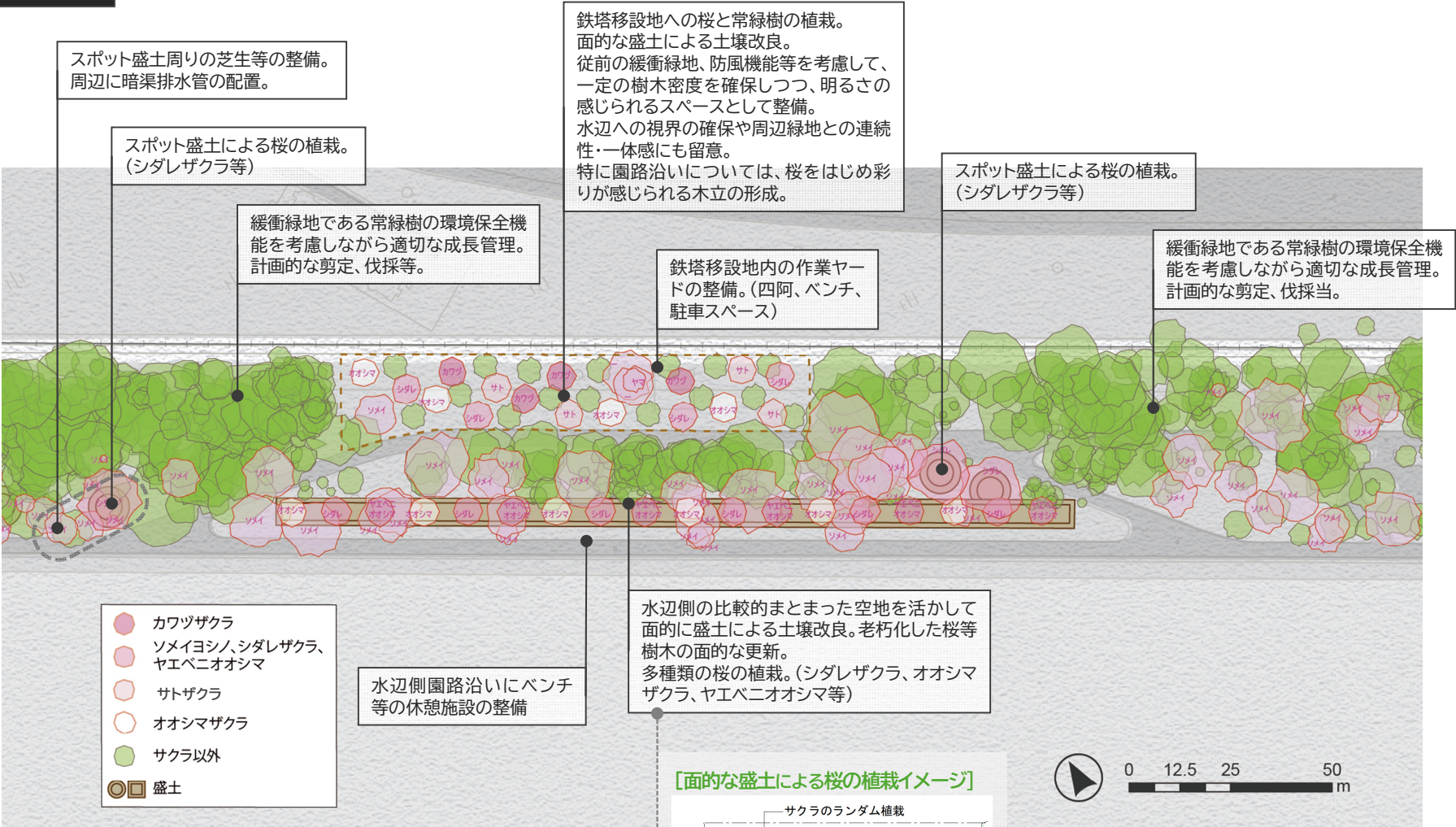
園路沿道の老朽した桜(枯木、危険木)
を撤去更新し、桜並木を育成。
園路空間の確保に留意。(セットバック
させながらの植替え等)

[スポット盛土による新たな桜の植栽、園路配置のイメージ]

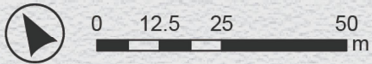
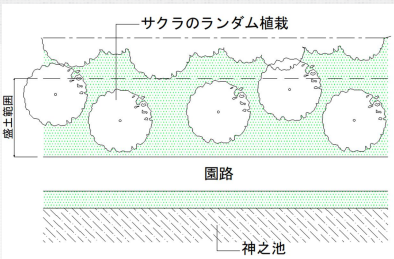


[G:桜の植替え・健全化ゾーン] [ふれあい橋先、花壇・四阿周辺]

将来の樹木配置イメージ (※ふれあい橋西側)



[面的な盛土による桜の植栽イメージ]



[H:レクリエーション広場形成ゾーン【鉄塔周辺】]

将来の樹木配置イメージ

園路からの見通しの確保。
園路沿い樹木の計画的な剪定、伐採等。

緩衝緑地である常緑樹の環境保全機能を考慮しながら適切な成長管理。
計画的な剪定、伐採等。

テニスコート等スポーツ施設敷地側(少し高い地盤)からの池への眺望の活用。
眺望を確保するため、鉄塔移設地での植栽の配慮、既存緩衝緑地帯の剪定等。

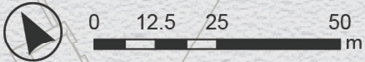
鉄塔移設地への桜と常緑樹の植栽。
面的な盛土による土壌改良。
従前の緩衝緑地、防風機能等を考慮して、一定の樹木密度を確保しつつ、明るさの感じられるスペースとして整備。
水辺への視界の確保や周辺緑地との連続性・一体感にも留意。

まとまって残るオープンスペースを活かして芝生広場の整備。
対岸ゾーンの交流拠点空間としての整備。イベント活用等。

スポット盛土による桜の植栽。
(シダレザクラ等)

水辺側園路沿いにベンチ等の休憩施設の整備

- カワツザクラ
- ソメイヨシノ、シダレザクラ
- サトザクラ
- オオシマザクラ
- サクラ以外
- 盛土



3. パイロットエリアの整備活用の方針

(1) パイロットエリアの考え方と候補地

パイロットエリアは、神之池緑地のある限定した範囲について、一時的・暫定的に、市民等が主体となって、緑地整備・維持管理の取組を実験的に進めるものです。神之池緑地を市民等による活用のために積極的に開放し、神之池緑地のにぎわい形成、市民参画の促進につなげていく取組・区域となります。

整備については、整備活用の範囲が見渡せるコンパクトな範囲を基本に、仮設的な整備を基本とし、整備活用の期間も通常の維持管理活動に大きな影響の出ない期間を基本とします。

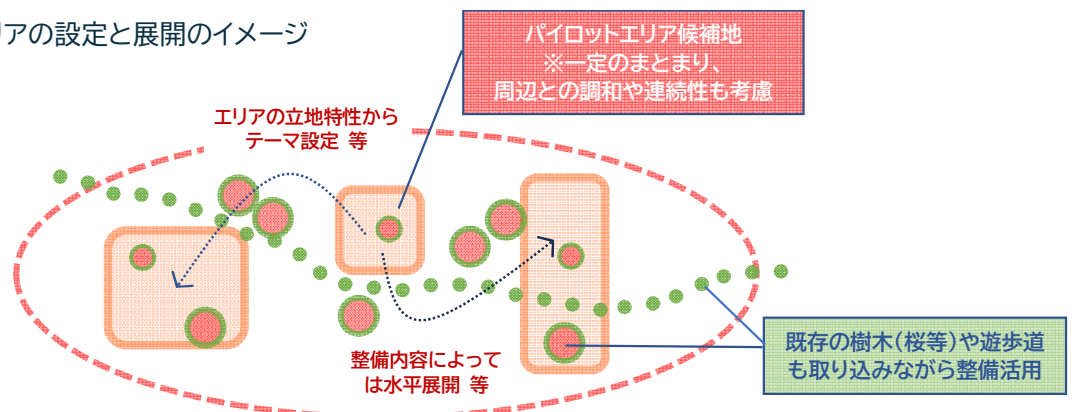
このような市民等が主体となった取組を、神之池緑地の各所で展開していくことにより、小規模ながら特徴的で魅力的な緑地空間の創出と、それによるにぎわいづくりにつなげていくとともに、市民等の神之池緑地に対する関心・愛着を高め、緑地づくりへの参加機会の拡大につなげていきます。

[パイロットエリアの具体的な実施の範囲・期間等の想定]

○範囲（面積）：300～1,500 m²（※カフェ隣の芝生広場が約1,500 m²）

○整備活用期間：1ヶ月～3ヶ月（※フラワーポットでの草花の開花期間、本来の管理の取組への影響を考慮）

■パイロットエリアの設定と展開のイメージ



[パイロットエリアの候補地（ゾーン）案]

候補①：カフェ周辺の芝生広場のエリア【Cゾーン】

（にぎわい形成の中心地、大型遊具や良好な芝生広場が既にある等）

候補②：スポーツ施設や広場等が集積する池のフロントエリア【Bゾーン】

（施設利用の人も立ち寄りやすい、駐車場等も近い等）

候補③：桜等樹木や花壇等により四季の彩づくりを進めていくエリア【Gゾーン】

（桜等樹木や草花による季節の彩・魅力づくりを期待、鉄塔移転による複数の空地の発生等）

候補④：芝生広場の整備によりレクリエーション・交流空間づくりを進めていくエリア【Hゾーン】

（まとまったオープンスペースを確保、対岸のレクリエーション・交流拠点づくりを期待等）



